

大阪市解体の「設計図」はどのようにして作られたの？

違法・議会ルール無視の暴走！

たかみも問題だらけのまま
消費税が上がり
がソリンも高騰
生活が大変
たかみ……



裏面をご覧ください

大阪市を解体する「大阪都」構想の設計図となる「協定書」が7月23日に維新の会メンバーだけで決定されました。橋下・維新の会による「野党委員の差し替え」という議会のルールを無視した暴走で、7月3日からわずか20日間に4回の「法定協議会」を開催する荒業です。大阪の未来を左右する問題をこんなやり方で良いのでしょうか？



法定協議会とは？

大阪都構想の制度設計を議論し、住民投票で賛否を問うための協定書案を作る機関。法律に基づき昨年2月に発足し、知事・大阪市長と議会が推薦する9人ずつの府議、市議の計20人で構成される。



法定協の協議日程つぶしは橋下市長と維新の会！

- 1月31日 法定協議会で、「維新」提案が通らないと、松井知事は、「法定協を閉じる議決を」と叫びますが、浅田会長は2月12日に次回開催を決めて終了。
- 2月10日 4党派連名による法定協開催要求を浅田会長が拒否、その後半年も開かず。
- 3月23日 橋下市長が「出直し市長選挙」を行い、法定協の日程をすべて吹き飛ばす。橋下市長は「出直し市長選で委員交代の民意を得た」と言いますが、史上最低の投票率に得票は半減。当時の世論調査で「法定協委員交代」に「反対」が過半数を占め、「賛成」の2倍以上でした(読売新聞)。

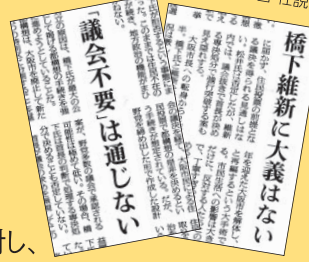
民主主義のルール無視 野党議員を排除！ 地方自治法に違反 議会開かず！

- 6月25日 法定協議会の正常化を求めて過半数の議員が府議会・大阪市会開催を請求。
- 6月27日 虚構の多数を維持する府議会運営委員会で、自民・民主委員を排除。
- 7月 3日 さらに公明委員を「維新」委員に差し替え、「維新独占」のまま第14回協議会を開催。
- 7月 9日 第15回協議会開催。橋下市長「(議会を)招集しないのは首長の判断。法に違反しているならば、選挙で審判をくだせばいい」と発言。
- 7月18日 第16回協議会開催。
- 7月23日 第17回協議会開催し、「協定書」決定を強行。
- 7月25日 大阪市会で「協定書」は無効!と決議。



橋下市長の「暴走」にわきおこる批判

「法定協議会」の異常事態に対し、政治的な立場をこえてきびしい批判がわきおこっています。府内自治体の市長から、一様に「あまりにも強権的」「地方政治は首長と議会の双方で成り立っているものであり、議会を軽視するやり方は、ありえない」と声があがっています。これからの大都市大阪のありようについて、公正で、堂々とした論議が求められます。



この短期間に4回の協議会を行い、強行

さらに暴走か？ 橋下市長らは、今回の「協定書」に府議会・大阪市会がどういう態度をとろうと、議会無視の「専決処分」の構えを見せています。